

分類	No.	チェック項目	基本	チャレ ンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・グループコンセプトやビジョン、社訓を明文化し、従業員に説明し共有している。また、あるべき姿の実現に向け、新しい技術・事業に挑戦する文化が形成されている。 ・年度末に全社員を対象とした経営方針発表会を実施し、次年度の目標・方針を共有している。								8	9									17							
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守の規程とマニュアルがあり、法令遵守の重要性を全従業員に向けて発信している。																		16							
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を含む行動規範を整備し、明文化している。 ・仕入先等に対し、不当な値引き圧力がないか、確認している。												10							16						
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者、責任者を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす正と負の影響を把握している。																			16						
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・規定を設けているほか、知的財産の保護に関する研修や勉強会を実施している。 ・知的財産には農業分野においてこれまで培った技術、経験、ノウハウを含んでいる。							8.2	8.3	9										16						
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・研修会を開催するなど、情報漏洩防止を徹底しており、情報漏洩事故に対する具体的な対応策を策定している。 ・個人情報取扱い端末を分けて運用し、物理的な切り分け管理を行っている。																				16					
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・顧客の声を大事にし、双方コミュニケーションに取り組んでいる。また、取引先や行政機関、金融機関など、ステークホルダーと連携した取組みを行っている。																				16	17				
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及び生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・地元農家など取引先の取組みに関心を持ち、対話に努め、連携した持続可能な社会づくりに向けた取組みを進めている。					5				8		10			12	13	14	15	16	17						
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●													9			11			13.1			16	17				
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・ジョブローテーション等により、後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ・出荷先の提供、他一次産業の情報提供を行い、次世代就農者支援を実施している。										8	9										17				
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							1	2						5			8			12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・あらゆる雇用条件において、差別しない体制・運営を徹底している。また、ハラスメント禁止について就業規則に定めている他、ハラスメント相談窓口として男女毎に担当者を設置している。					4.3	4.4	4.5	5.1	5.2	5.5			8.5	8.7	8.8						16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・朝礼や全体会議などで労働上の安全に関する情報共有を行っている。 ・フォークリフトの運転に携わる者には、安全講習会の受講を徹底している。							3							8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・スタッフ・パート社員)の公正な待遇を行っている。							5.5							8.5						10.2	10.3				
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理徹底や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への取組みを実施している。								3		5.5				8.5	8.8					10.3					
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・社外講師による階層別研修を実施している。 ・資格取得のための費用補助制度を導入している。								4	5.5					8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎週の朝礼時に交通事故等への注意喚起や健康増進への取組みの促進を行っている。 ・2024年に健康経営優良法人(経済産業省)認定を受けている。										3					8								17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・障がい者や外国人を雇用しており、適切なマネジメントの環境整備に取り組んでいる。																8.5						10.2	10.3		16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●		・フレックス制度やテレワークをはじめ、Web会議等の積極的な導入により、新しい生活様式への対応を行っている。										3						8	9.1			11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・DXの推進を図ることで、更なる事業拡大や常識に捉われないイノベーションに取り組んでいる。 ・ICTやの新技術の活用により、作業の効率化、生産性の向上に取り組んでいる。																	8	9.1				11	12		
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業の認定を受けている。																8	9					12			

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・サプライチェーンにおける廃棄物や有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・一部の営業車やフォークリフトをエコ化することで、排出抑制に取り組んでいる。 ・自社エネルギー使用量を把握している。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・遠方への出張を極力、リモート対応とし、公共交通機関利用を減らすことでCO2排出抑制に貢献している。 ・令和6年7月から簡易算出シートにより自社エネルギー排出量を把握している。			2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業及び従業員の活動(例:MYボトルMY箸の推進)において、使い捨てプラスチック製品などの使用削減に取り組んでいる。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・環境に配慮した資材、製品の利用を推進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・ペーパーレス化の取組みや再生紙の利用を推進している。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・廃棄ロスの取組みとして、規格外商品の活用に向けた企画、開発を行っている。		1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		【予定】令和7年5月までに、植樹等の環境保全活動への取組みを開始する。						6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		【予定】令和7年5月までに、植林等の森林整備活動への取組みを開始する。						6.1 6.3 6.6							11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減や環境にやさしい素材の使用に取り組んでいる。 ・社員のマイボトル利用を推奨している。													12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2			13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13						17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

更新

事業者名: 株式会社 藤本物産

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・商品・サービス提供時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・提供するサービスの質を確保するため、相談窓口の設置やアンケートの実施などにより顧客の意見を聞き、関係者で共有、活用している。			3.9						9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所は段差のないバリアフリーであり、ユニバーサルデザインを考慮している。									9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・熊本県内の契約農家の顔の見える商品化とトレーサビリティの推進を行い、お客様に新鮮で安心な食材をお届けしている。		2.3	2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・ネット通販事業やふるさと納税事業など地域に根差した企業活動を通して地方の課題を解決している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	・新技術の導入により、周年栽培を実現している。 ・契約農家の経費削減、収益拡大、作業軽減化、生産効率化、省エネルギー化を図っている。		2.3	2.4							8.2	9.2	9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本地震からの復興支援活動のため熊本城復興バナナ事業を実施し、注文1袋あたり1円を自社負担で寄付している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・多発する災害に備えたBCP対策を強化している。 ・事業所に防災グッズの備蓄を進めている。				4								11.5		13.1				16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4							10.2	11.5		13.1				16	17	
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を推進している。		●											9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・代表取締役社長を委員長とした「SDGs委員会」を設置している。 ・事業活動において社会課題の解決に繋がる取り組みを推進するとともに、定期的な開催により課題解決と進捗の共有を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・学生のインターンシップや職場体験を積極的に受入れていく体制を構築している。				4						8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・自社HPで採用サイトを開設している。 ・動画配信により、業務内容を分かりやすく紹介すると共に、若手社員の声を発信することにより、リーディングカンパニーとしての魅力を伝えている。				4.4					8.5	8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・地元の農産物を通じた食育に取り組んでいる。		2		4.3	4.4	4.5				8.6		10.2		12	13	14	15			17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。